

「大島の子供たちに 夢を持ってもらいたいです。」

「岩政選手とサッカーをしよう」は、今回で4回目の開催となります。“自らが企画したサッカー教室の思い”“今まで育ったふるさと周防大島への思い”などをインタビューしました。



— なぜサッカー教室を始められたのですか？

僕が目指すサッカー教室は、このようにボールを蹴ったらよいとか、ここにパスを出しなさいとか、サッカーの基本や技術といったことを教えるのではなく、ボールと触れ合う感じで、楽しんでもらいたいです。

だから今までサッカーをしたことがなかった子供たちにも、ぜひ参加してほしいんです。そしていっしょに楽しむことで、サッカーに限らず希望を持ってもらい、子供たちがもっている夢へとつなげてもらいたい。僕自身小さい時にJリーガーや陸上選手などを見て、その人に出会うだけで感動し、その時の経験があったから夢へと前進し、現在こうしてプロになっているんだと思います。

— 大島への思いを聞かせてください。

大島は昔と変わらずいい空気、いい景色で帰るたびに癒されますね。それと住んでいる人があったかい。小さい時から周りの人はみんな知り合いで、あいさつをすると必ず返事をしてくれました。田舎のいいところですね。

だから僕は島で育ったことがうれしんです。もちろん僕を育ててくれた両親、おじいちゃん、おばあちゃんに感謝しています。また兄には小さい頃よく遊んでもらいました。今の自分